

令和2年度 学校経営グランドデザイン

< 校 訓 > 「共感・創造」

- 相手に寄り添い、相手の考えを理解することは、自らの考えを広げることでもある。一人一人の生徒が自他を大切にし、共に問題解決に向かうことができるよう、共感的な教育活動を進める。
- 真剣に勉強や運動に挑戦したとき、人は創造的になる。全ての生徒たちが未来を切り拓く力と意欲を身に付けることができるよう、創造的な教育活動を進める。

学校教育目標

自ら学び 認め合い 心身ともに健康な生徒の育成

■目指す生徒像

- 意欲的に学び、自分の考えを表現できる生徒
- 労を厭わず、運動に前向きに取り組む生徒
- 自他を敬愛し、思いやりを持つ生徒

■目指す教師職員像

- 付けたい力を意識した密度の濃い授業を実現する教職員
- 生徒と共に汗を流す教職員
- 目標達成を目指し、組織として協働する教職員

■目指す学校像

- 美しい学校
- 活気ある学校
- 他に誇れる学校
- 地域に愛される学校

今年度の重点目標

基本的な学習習慣と生活習慣、活用できる基礎的学力を身に付けた生徒の育成

自分の考えを伝え合い、互いに尊重し、課題解決を協働して行う生徒の育成

課題解決のため自ら関わり、楽しみながら課題に向かう生徒の育成

重点的に何を するか

○新大分スタンダードに基づく授業改善

- ・まとめと振り返りの時間の確保と個に応じた指導充実
- ・本校の授業規律に則った授業実践
- ・学習の見通しを持たせる単元計画の共有

○運動能力テストで明らかになった課題項目の向上

○望ましい生活習慣の確立

- ・家庭での学習習慣確立とメディアコントロールの働きかけ
- ・食育を通じた望ましい食生活の指導
- ・運動の日常化と自力登校

○主体的・対話的で深い学びの実現

- ・単元計画に沿って計画的に行う「自分の考えを練り直す場」の設定
- ・近隣の学校とのT 授業推進
- ・学習支援加配の活用による、自発的に学び合う環境づくり

○人間関係づくりプログラムの推進

- ・学級担任を中心に人間関係づくり活動を毎週実践

○総合的な学習の時間の充実

- ・ゲストティーチャー等に地域人材を積極的に活用

○いじめゼロ運動の推進

- ・特別の教科道徳の充実
- ・人権や仲間づくりに関する集会の実践
- ・個別面談やQU 検査、各種アンケートの活用

○楽しく体を動かす場面設定

- ・生徒会を中心に、「みんなで遊ぶデー」や専門部マッチを設定

○親子での会話の充実推進

- ・週1回の「Yes, Family Day」を活用し親子の会話充実の働きかけ
- ・各種便り・ホームページによる情報発信

○能動的な他者への働きかけ

- ・温かな声かけと校外の挨拶運動

○自らを磨く黙々創自(掃除)

- ・空間把握能力、創造力、自省力を磨き、人や物に感謝する気持ちの醸成

■オープン化

- 経営方針や互見授業等、実践の日常的な交流
- 子供・保護者、教職員相互の相談体制の充実

■システム化

- 主幹・主任等を機能させた問題解決型の学校運営
- 目標管理等を有効活用した人材育成と業務改善

■ネットワーク化

- 校内委員会を有機的に結び合わせる組織的学校運営
- 学校運営協議会の経営への反映及び関係機関等との連携拡大